



滑川市議会議員  
し しん かい  
**志真会 会報** 2022  
5月発行

### 志真会って何?

3月28日に滑川市議会議員で新たに結成した最大会派です。会派のメンバーは竹原正人、青山幸生、大浦豊貴、谷崎潤一、安達真隆、吉森真人です。40歳から51歳までの県内でも一番若い最大会派になります。若くても様々なことにチャレンジしている6人になります。議員活動以外は会社経営者や営業担当の会社員、個人事業主など普段は皆さんと同じように地域の一員として活動し、納税側の立場で物事を考え、議会にて提言しています。また消防団、体育協会、PTA、商工会議所等に所属し、市民の意見を傾聴し、より市政へ反映できるよう研鑽を積んでいます。

目的は①40、50代の同じ世代で集まり、市全体を見て当局をチェックすること、

②若い世代で政策を考え、人口減少時代に立ち向かうこと、

③アイデアを出して滑川市を豊にすること、です。

### 3月議会の予算は?

上田前市長から水野新市長になってから初の定例会となりました。2022年度一般会計予算124億8142万円となり、昨年から比べて8.1%の減となりました。昨年は中滑川駅前整備事業の予算がついておりましたので、全体として約11億の減少となっています。

今年度の大きな予算をみてみますと、中野島坪川線踏切改良事業に2億5,500万円、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の実施に1億4,099万円。

フットボールセンター富山のサッカーコート的人工芝張り替えに1億2,000万円など引き続き新型コロナウイルス感染症対策や市の施設修繕の予算を可決しました。

水野市長の公約である「滑川市版スマートシティ」の実現、サテライトオフィスの設置については、時間的な制約があり、6月議会以降での補正予算となりそうです。しかしながら予算規模は毎年ほぼ同程度の予算となっている中、3月議会で削れた予算はわずか1,917万円であり、早くも水野市長の公約に黄信号が灯っておりますが我々志真会は創意工夫で「できないではなく、どうしたらできる」を考えていきます。

### その他の議案で気になるところは?

柿沢昌宏氏を副市長とする追加議案に同意致しました。柿沢副市長は京都大農学部卒。1986年に県職員となり、商工労働部次長や総合政策局長、議会事務局長などを歴任してきました。本人曰く、様々な研修や勉強会に参加しているとのことであり今後の政策内容の充実に期待するところです。

竹原正人 議員



#### 議会で質問した内容は?

2月に新市長が誕生し、今後の市政運営について質問をしたのを皮切りに、新型コロナウイルス感染症対策について、観光振興について、子どもたちの学習環境について、海浜公園整備事業についての5つの質問をしました。中でも、原油価格の高騰や、原材料等の値上げが今後も続いていく中、市としての予算対応について質問しました。

#### この4年間でやりたいことは

滑川市としても、人口減少は避けては通れない事から、子どもを産み育てやすい環境をさらに整えること。将来人口を見据えた財政運営をしっかりと行っていくこと。そして、カーボンニュートラルへの取り組みの具現化を掲げ、偽りのない政治を目指していきます。そして、ふるさと滑川に住んで良かったと実感できるまちを造っていきます。

大浦豊貴 議員



#### 議会で質問した内容は?

海の環境を保護するうえで、二酸化炭素吸収と酸素の供給、窒素やリンを吸収し水質浄化、生物の生息場所等大切な役割を担い、地球温暖化の観点からもブルーカーボンによる地球温暖化の側面を持ち合わせる藻場の保全により漁業生産基盤の向上、並びに温暖化対策として推進する事業提案を行いました。その他、滑川市教育委員会運営等に関し質問しました。

#### この4年間でやりたいことは

人口・世代別世帯地域の変化に対し、道路等・除雪・防災対策について優先度を見直し、インフラ・住環境整備の促進を図ります。各公共施設の稼働率や必要性を鑑み集約・廃止から財政健全化を推進し、行政サービスの円滑化に繋がります。



## 谷崎潤一 議員



### 議会で質問した内容は？

就任初の12月議会の一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策における小・中学校の児童・生徒の心のケアの進捗状況や、自然災害における滑川市の取り組み対策、備蓄庫の数・備蓄量・災害時の仮設住宅の建設予定地など。3月議会の一般質問では、小学校行事である新幹線遠足の継続の検討、健康寿命・維持に繋がる支援について、滑川市の文化芸術について質問しました。

### この4年間でやりたいことは

地域の皆さまの要望・意見をひとつでも多くお聞きしたいと思っています。今年に入ってから少しずつお声がけいただき、用水路に設置していた柵の修繕・通学路に開いた穴の修繕など私が目指している地域と行政の橋渡しを今後もしていきます。子育て世代・地域を代表として文化芸術・教育問題・安全対策など皆さまの安心安全なまちづくりを目指して努力してまいります。滑川市の皆さまの生活に直結する質問や政策提案をどんどんしてまいります。

## 吉森真人 議員



### 議会で質問した内容は？

私自身が、子育て最中の親であり長年PTA役員であることで、教育に関する事を中心に質問しました。12月は、①ICT教育における本市の取組が進んでいないのでは②東加積小学校の問題(小規模特認校の積極的なアピール・複式学級への対策を提言)を、3月は、①土曜授業の廃止方法が間違っている点とその先の対策について②コミュニティ・スクール等の導入の有無や地域部活動の考えを質問しました。これからも教育のみならず多くの課題を解決できるよう努めてまいります。

### この4年間でやりたいことは

まずは、子供たちの教育としてSTEAM教育などの実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を取り入れ、今後さらに発展していくIT社会に順応した競争力のある子が育つ滑川としたいです。また、ポストコロナに向け新たな地域コミュニティーの形成方法を模索し実行し元気な滑川としたいです。ここにいる仲間と共に皆様のためにより多くの事柄を提言し達成していきます。

## 安達真隆 議員



### 議会で質問した内容は？

滑川市コミュニティバスの利便性について質問しました。バス停の代わりにどこでも乗り降りできるように自由乗降を取り入れるべきだと思います。バス停を増やすことによりコスト削減にもつながり、利用者の利便性を取り入れるべきであると考えます。

消防団育成について、分団員が増えないのであれば機能別分団員(OBや緊急事態にだけ出動する団員制度)の導入の検討。滑川中央線のケヤキの木の伐採について、中央線には1キロにわたり170本のケヤキがある事から、全部でなくても間引きできないか質問しました。

### この4年間でやりたいことは

まずは市民の皆様を選んでいただいた以上、市民目線で何ができるかいろんな方の意見を聞いて自分ができることから始めたいと思います。公約は少しずつ進めていきます。また志真会のメンバーは年齢も近いことからいろんな意見交換していいものは良い、悪いものは悪いで議論をして、新しい議会運営をしていきます。

## 青山幸生 議員



### 議会で質問した内容は？

①タラソピアの存続および廃止の見解について②滑川市財政の認識について③滑川市版スマートシティについて④スポーツ向上について質問しました。

財政の認識については水野市長は前回選挙立候補時に「滑川市の財政破綻」を提言しており、私の当時の認識は、財政は健全だと思っていたが、市長選挙で市民の不安を煽った状態になったことは事実であり、認識間違いと訂正をお願いしました。水野市長は、公で財政についての発言をする場合、今後は慎重に発言する旨の答弁をしていただきました。

### この4年間でやりたいことは

人口減少時代における対策として子ども第一主義の徹底を促してまいります。また地域に小学校が無くなった場合、その地域は確実に衰退します。小規模特認制度(東加積小学校)の活性化、特色ある学校づくりに努めてまいります。今後統廃合の話が議論になっても廃校には断固反対します。